



75周年記念事業  
人間社会科学  
研究科  
地域連携  
パネル展示

# 東広島市「広域交流型オンライン学習」の取り組みとその成果

## 大学院生・学部生による運営支援に注目して

### "Local Study to Encourage Wide Area Communication" in Higashihiroshima City: Focusing on Support by Graduate and Undergraduate Students

- 吉田 純太郎 Juntaro Yoshida (大学院人間社会科学研究所・博士課程後期1年)
- 両角 遼平 Ryohei Morozumi (大学院教育学研究所・博士課程後期5年)
- 田中 峻斗 Ryouto Tanaka (大学院人間社会科学研究所・博士課程後期1年)
- 川本 吉太郎 Yoshitaro Kawamoto (大学院人間社会科学研究所・博士課程後期3年)

## 東広島市の小・中学校と地域がオンラインでつながる

広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)は、2021年度から東広島市教育委員会と連携して「広域交流型オンライン学習」企画を実施している。毎月1回、東広島市内9町の小学校をオンラインで結び、市内各地からの中継を交えながら、東広島市の地理・歴史・政治・経済・文化を協働的に学ぶ取り組みである。企画3年目となる2023年度からは、対象を中学校に広げたり、県外の小学校を交えて学習を展開したりと、企画の一層の発展拡大を図っている。Town & Gown Office「コモンプロジェクト」認定事業でもある。

企画の安定的・継続的な実施には、人間社会科学研究所・教育学部所属の大学院生・学部生による運営支援が欠かせない。



授業の様子は  
こちら



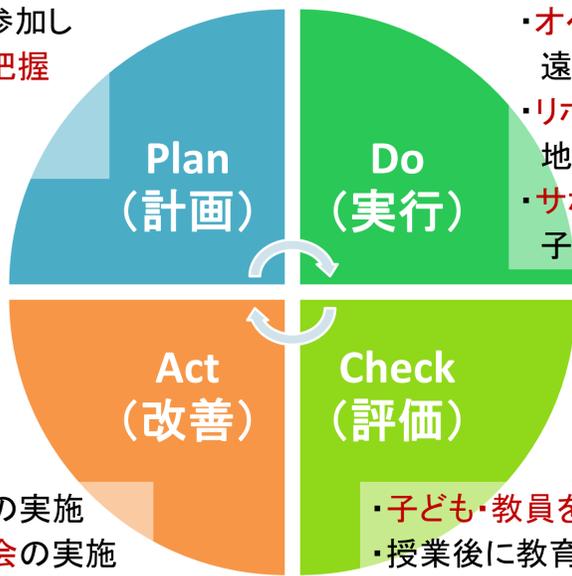
## 教育・オンラインを究めた大学院生・学部生がささえる

複数の地点をオンラインで同時接続し、一斉に授業を行うことは容易ではない。学生が、機器等を巧みに操作したり、子ども・教員・地域住民の参加を補助したりすることで、企画を円滑に進行することが可能となっている。教育学を専攻するオンライン世代の学生だからこそ為せる支援といえる。そのノウハウは、毎月の実践を通して修正・改善が図られる。さらに、新規スタッフに対しては大学院生が主導して研修を行う。このようにして持続可能な企画支援体制が成立している。これまで運営支援に携わった学生数は延べ315名に上る。(2023年6月末時点)

- ・小・中学校教員向け説明会に参加し  
各学校の様子を事前に観察・把握
- ・授業前日には支援ログを  
授業者とともに打ち合わせ



みんなで授業の要所を確認



- ・新規スタッフを対象とした研修の実施
- ・機器操作・社会科授業の勉強会の実施

- ・オペレーターとして  
遠隔授業に必要な機器等を操作
- ・リポーターとして  
地域住民の声を教室へ伝達
- ・サポーターとして  
子どもの学習・教員の指導を補助



機器操作はお手の物



消防車を紹介!



難しいところはお助け

## 大学院生・学部生による運営支援に対する声

子どもの声



- ・これまでに延べ6,467名の子どもが学習企画に参加 (2023年6月末時点)
- ・毎月80~95%の参加児童が学習企画を楽しかったと評価、「大学の先生や大学生が行う授業は、とっても分かりやすかった。もっと受けたくなった。」(2021年度の生徒用事後アンケートから、[1]も参照のこと)

小学校教員の声



- ・「接続がうまくいかなくて不安で、当日も電子黒板に画像が映らないことがありましたが、大学生が来てくださって、解決してくださったので、とても助かりました。」(2022年度の教員用事後アンケートから)
- ・「広大学生の方のサポートがうれしかったです。助かりました。ありがとうございました。」(同上)

学生スタッフの声



- ・「現職教員や行政との関係づくり、地域との連携など、学校現場のみを観察する従来の学校観察とは異なる、新たな観察実習の機会として教員育成に活用することができるのではないだろうか」([2]より一部抜粋)
- ・「OJTとリカレント教育のいいとこ取りとも言える。」(同上)

[1] 吉田純太郎ほか(2022)「越境的な遠隔教育を子どもはどう受け止めたか—東広島市「広域交流型オンライン社会科地域学習」参加児童のアンケート回答から—」『広島大学大学院人間社会科学研究所紀要 教育学研究』第3号, pp.81-90.  
[2] 草原和博ほか(2022)「広域交流型オンライン社会科地域学習の取組」『広島大学教育ビジョン研究センター・草原和博・吉田成章編『教育の未来デザイン—「コロナ」からこれからの教育を考える—』溪水社, pp.122-131.

本取り組みについてのより詳しい情報・最新の状況・連絡先については、  
広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)のホームページ(下記のURL・右図のQRコード)をご覧ください。  
<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/koiki2023>

